

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	糸島市立志摩中学校姫島分校
授業者	全教職員（研究担当：高武尚志）

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

海の豊かさをまもろう

#### 1-2. 学年

2 学年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

#### 1-4. 単元の概要

豊かな海をまもろう

- 環境について考えよう・・・11時間  
昨年度のふり返り ①  
実態調査 ②  
クリーンアップ活動 ⑧
- 産業について考えよう・・・15時間  
あま体験 ③  
船釣り体験 ③  
水産加工体験 ③  
島にない海に関する仕事 ⑥
- 発信・交流しよう・・・6時間  
他の中学校との交流 ②  
離島交流会 ②  
掲示物作成 ②

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

「姫島を愛し、心豊かでたくましく、自ら実践する児童の育成」を教育目標に、島の歴史や環境等について学習してきた。小学校の学び（海洋教育パイオニアスクールプログラム）を踏まえ、環境と産業の観点から海洋教育の内容を整理し、充実させる。そこで、「海中調査、産業等の実体験」、「他校との遠隔交流、リアルな画像等の視聴などICTの効果的な活用」を柱に、糸島の海の豊かさを守るための課題を探求、実践し、他の取組に学んだり、発信したり、意見交換したりすることで、島の人・物・事のよさを再確認し、島を愛する心と島の環境、産業をよりよくしていこうとする参画意識と実践力を育てていきたい。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

<p>「海中調査，産業等の実体験」を柱に糸島の海の豊かさを守るための課題を探求，実践し，他の取組に学んだり，発信したり，意見交換したりすることで，島の人・物・事のよさを再確認し，島を愛する心と島の環境，産業をよりよくしていこうとする参画意識と実践力を育てる。</p> <p>○ 体験→思考・判断→表現の学習過程を通して以下の資質、能力、態度を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報収集力 課題設定力</li> <li>・情報活用力 課題解決力 創造性</li> <li>・社会連携力 協調性</li> </ul>
---

1-7. 単元の展開（全32時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導○ / 主な評価□ 外部連携◇ / 使用教材等※
3	<p>1 海的环境について考える</p> <p>(1) 1年次の学びの振り返り</p> <p>(2) 海的环境について調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 姫島の海面や海中の状況を知る           <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師撮影画像・動画から学ぶ</li> <li>・実際にシュノーケリングを行い確認する</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 海の豊かさと磯枯れや海洋ごみの課題の両面があること</li> <li>□ 環境課題について考えることができる</li> <li>◇ 糸島磯根漁場保全協議会 糸島漁協姫島支部 糸島地先藻場調査委託（株式会社ベントス）</li> <li>※ 第2期水産多面的機能発揮対策における定期モニタリング調査資料</li> <li>※ 教師撮影海中動画、海面画像</li> </ul>
8	<p>(3) クリーン活動を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鎮山クリーンアップ活動1 小学校と協働して行う</li> <li>○ 鎮山クリーンアップ活動2 島の方や企業と協働して行う</li> <li>○ 海岸クリーン活動 小学校と協働して行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 山や森の環境が海的环境に影響すること</li> <li>○ 安全に活動するための指導</li> <li>□ 環境課題をとらえ、その解決策について考え行動しようとするすることができる</li> <li>◇ 姫島小学校・姫島住民・九州電力送配電部</li> </ul>
0	<p>2 海の産業について考える</p> <p>(1) 親への聞き取り</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 親や家族への聞き取りを通して，将来への展望を持たせること</li> <li>□ 仕事の喜びや苦勞について考えることができる</li> <li>◇</li> <li>※ 職場体験学習，起業家教育と関連</li> </ul>
3	<p>(2) 水産実習①（あま体験）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ あまさんの指導を受け、海に入り、ウニの収穫・ウニ割を行う。小学生への指導を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ムラサキウニを獲ることは、「食材」、「磯枯れを起こす要因の除去」の側面があること</li> <li>○ 安全指導</li> <li>□ 収穫技術を身につけ，主体的に実習することができる</li> <li>◇ 糸島漁協姫島支部</li> </ul>

3	<p>(3) 水産実習② (船釣り体験)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 亀丸船長から漁についての話を聞く</li> <li>○ 船長から指導を受け、実際に船に乗り、釣り実習を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 船釣りを体験し、楽しさと厳しさを実感させること</li> <li>○ 安全指導</li> <li>□ 釣の技術を身につけ、主体的に実習することができる</li> <li>◇ 糸島漁協姫島支部 亀丸船長</li> </ul>
3	<p>(4) 水産実習③ (水産加工体験)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 魚の買い付けを行う</li> <li>○ 西京みそ等を調合し、みそ床をつくる。</li> <li>○ 漁協から鯖を買い付け、鯖をさばき、切り身にして漬け込む作業を行う。</li> <li>○ 家で調理し、家族からの感想を聞く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 島の方から水産加工技術を学ぶことを通して、「ひと・もの・こと」のよさの実感。</li> <li>□ 水産加工技術を身につけ、主体的に実習することができる</li> <li>◇ 糸島漁協姫島支部 女性部</li> </ul>
6	<p>(5) 姫島にない海に関する仕事の聞き取り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 海の中道マリンワールドで働く方への聞き取りを行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 海に関する仕事は、多様にあり、マリンワールドに働く方々へのインタビューを通して見識をひろげる</li> <li>□ 積極的に聞き取りを行い、展望をひろげることができる</li> <li>◇ 海の中道マリンワールド</li> </ul>
6	<p>3 他校との取組交流・発信を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 糸島市内全中学校生徒会と SDG s に関する取組の交流</li> <li>○ 福岡県離島交流会で取組を発信する交流会の運営、司会を行う</li> <li>○ 学んだことの掲示物を作成し、地域へ発信する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他校の取り組みに学ぶとともに、自分たちが取り組んできたことを振り返る</li> <li>○</li> <li>□ 他校の実践に学び、自分たちの考えを見直すことができる</li> <li>◇ 糸島市内中学校 糸島市教育委員会</li> <li>※ ICT の活用 プレゼンテーション</li> </ul>

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。



### 2-1. 単元における位置づけ

単元 32 時間中の 28・29・30 時間目（産業について考えよう 15 時間中の 13, 14, 15 時間目）

### 2-2. 本時の目標

水産物の加工実習を通して、姫島の海の豊かさを実感し、地域の方々の指導をもとに加工技術を学ぶ

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
○ 漁協から魚を購入（予約）する 魚の漁獲状況を知る	収穫の状況等から自然環境が大きく影響していることを実感させる
<p>1 本時のめあてを確認する 地域の方々の水産加工技術を主体的に学び、身につけよう</p> <p>2 水産加工実習を行う</p> <p>(1) 講師の話聞く (2) 講師の先生の実演を観察する (3) 実際に行う</p> <p>① ミソ床をつくる ② サワラをさばく ③ サワラをミソ床につける ④ パッケージ（真空パック）する</p> <p>(4) 講師の先生からの評価 (5) 講師の先生へのお礼</p> <p>3 ふり返り</p> <p>(1) シェアリング (2) レポートの作成 オクリンクを使用しレポートにまとめる (感想・自己評価)</p>	<p>○ 島の方から水産加工技術を学ぶことを通して、「ひと・もの・こと」のよさを実感させる。</p> <p>※ 体験の手順として 「してみせる」→「支援する」→「見守る」 (評価) 主体的に体験しているか</p> <p>①  ②  ③ </p> <p>④  ⑤  ⑥ </p> <p>○ 学びを共有することで学習を深める ○ レポートの作成において、ICT 機器を活用する</p>
<p>○ 家庭に持ち帰り、調理して試食する ○ 家族に感想をもらう ○ レポートの付加・修正</p>	<p>(評価) 海の豊かさを実感できたか ・焼いた写真や家族で食べている写真を撮影する ※3年では、商品化するための学習を行う</p>

### 3. 今回の活動の自己評価

「海の豊かさをまもる」というテーマで学習を進めてきた。第1学年では、海の環境について学習し、文化祭で発表することができた。その学びを踏まえ、第2学年となる今年度は、クリーンアップ活動を通じて、昨年の学びにリアリティーを持たせるとともに、姫島の現実に視点が向き、今後の活動（行動）について考える姿が見られた。

また、水産実習では、「あま体験」「船釣り体験」「水産加工体験」を通して、家族や島の方々との出会い直しができ、姫島の「ヒト・モノ・コト」のよさを体感することができた。さらに、姫島の産業が自然に大きく影響することも実感し、産業と環境が関連していること、多面的に考えていくことを学部することができた。

### 4. 今後の課題

来年度は、今年度の学びを継続しつつ、起業家教育の視点からの海洋教育を進めていく必要がある。

水産実習では、収穫や加工したもののよさを実感しているので、それをどのように付加修正し、どのようにひろげていくか、実際に商品化できないかなど、漁協や地域と連携しながら起業家精神と起業家的資質・能力を育成していきたい。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。